



2022年
8月30日
発行

日本山岳会

「高尾の森」



—小下沢風景林の森づくり活動—

会員数：165名
(2022年7月末現在)

ドルフィントレーナーの卵たちよ、
海に向かって高尾の森から飛び立て！



(2022.5.15 滋慶学園 TCA 森林体験教室より)



マダラカマドウマ



マダラカマドウマ

洞窟や朽木の中に見られ、
民家では床下などに生息し7月上旬～9月末によく見られる。
古い日本家屋では竈（カマド）の周辺などによく見られ、
飛び跳ねるさまが馬（ウマ）を連想させたことから
この名前が付いた。

絵：横川 信由

<http://JACtakao.net>

2022年 通常総会報告

日時：2022年6月18日（土）14:00～16:00

場所：日野市 富士電機能力開発センター 310 研修室

議長：本山幹事、組澤幹事

【総会成立要件】（定足数）

- ① 会員総数：162名（必要定足数は54名（1/3）以上）
 - ② 当日参加人数：31名
 - ③ 議決権行使会員：64名（いずれも議案に賛成）
 - ④ 委任状：27名
- 総数②+③+④=122名で成立要件を確認した。

議事録署名人の選任

議場に議長指名の確認後、異議なしを受け、白井監査役、日比野監査役を指名した。

第一号議案「2021年度事業報告」

第二号議案「2022年度会計報告」

- 事業報告を吉川代表より、フィールド活動を大森副代表より報告した。
- 会計担当安藤会員より、会計報告をした。
- 日比野監査役より、事業報告及び会計報告が適正であると監査報告された。
- 第1号議案と第2号議案は、質疑応答のあと総会出席会員は異議なく、議決権行使の会員と合わせ賛成多数で承認された。

第三号議案「幹事及び監査役の選任」

吉川代表より、大塚哲生氏、本山幸次氏の留任と、以下の新幹事候補、新監査役の提案説明を行った。

【幹事候補者】

小木曾裕子、小野 正、組澤勝、小山圭司、仁藤正夫、早川憲也、松隈茂、以上重任の7名
相澤篤、伊藤篤、日比野克彦、森中大晴 の新任4名

幹事役割分担表（五十音順）

役員幹事	氏名	主な担当役割
代表（新）	大塚 哲生	総括、幹事会・総会、緑推・JAC 連絡、法人対応、統括安全管理者、A 班リーダー
副代表（新）	小木曾 裕子	総務統括、広報、HP 保守、D 班リーダー、三宅 PJ
副代表（新）	早川 憲也	定例作業企画・指導・総括、森林管理署報告、E 班連絡、
副代表（再）	松隈 茂	森林管理署窓口・交渉、技術指導、作業道管理
事務局長（再）	仁藤 正夫	事務総括、名簿管理、入会対応、法人対応
幹事（新）	相澤 篤	美林見学会、動物調査、森の研修
幹事（新）	伊藤 篤	HP 管理者、ドローン運用
幹事（再）	小野 正	森の研修、B 班リーダー
幹事（再）	組澤 勝	機械班サブリーダー、道具小屋管理、作業道管理
幹事（再）	小山 圭司	環境整備班、清新第一小学校
幹事（新）	日比野 克彦	都有林 PJ、2023 植栽地シカ柵設置、緑推連絡
幹事（継）	本山 幸次	C 班リーダー、ものづくり・小屋管理、京王親子、滋慶学園
幹事（新）	森中 大晴	安全管理者、研修（機械、ハチ・緊急対応）
監査役（新）	川久保 芳男	会計・業務監査
監査役（新）	松川 征夫	会計・業務監査
監査役（新）	吉川 正幸	会計・業務監査、会計支援、シカ柵 PJ リーダ

*1. 幹事会にはオブザーバとして機械班リーダー寺田誠さんも参加する。

*2. 会計担当を安藤幸彦さんに選任する。

【監査役候補者】

川久保芳男、松川征夫、吉川正幸の新任3名

会員から「企業で代表、副代表が2人揃って監査役となることは珍しい。その意図するところはなにか。」との質問があり、吉川代表は「2人のこれまでの経験を活かし、会を支えていくつもりである。」と回答した。

質疑応答のあと総会出席会員に異議なく、議決権行使の会員と合わせ賛成多数で承認された。

第四号議案「規約の一部改訂」

吉川代表より、新年度に板当地区「ふれあいの森」の新協定を締結するにあたり、規約（事業の種類）5条（1）項の改訂の提案があった。改訂案は以下の通り。

【改定案】

八王子市高尾山山系の小下沢国有林及び板当国有林を主な対象として、広葉樹と針葉樹が混在する豊かな森に誘導するための森林整備

総会出席会員3分の2以上の多数による議決し承認された。

報告事項「2022年度事業計画及び予算」

- 吉川代表より、2022年度の活動方針及び予算について報告した。
- 松隈副代表より、これまでの「小下沢国有林地区（継続ふれあいの森協定）」と新たな「板当国有林地区（新ふれあいの森協定）」の森林保全活動計画、また2022年度以降の課題と活動について報告した。

退任の挨拶

総会の終了にあたり、吉川代表、松川副代表、大森副代表、白井監査役から退任の挨拶があり、議長から謝辞があった。

新代表、他役員選出

総会直後の臨時幹事会で新代表、副代表、事務局長の互選を実施し、協議の結果全会一致で決定した。

代表 退任の ご挨拶

吉川正幸



緑濃き初夏6月の総会をもって、私は代表を退任いたしました。6年の任期の間、大きな事故もなく過ごせたのは、会員の皆様の協力のおかげです。また、中断していた植樹祭を、これからの開催の道筋をつけられたことはうれしい喜びでした。

私は9年前に当会の会員になりましたが、そのころの実行委員会や総会に出て、当時の代表河西さんや事務局長の龍さんに組織や運営の改善が必要ですよと言っているうちに、会の役員にとり込まれてしまいました。今では組織的な運営ができるようになったので、少しはお役

に立てたと思っています。代表等の執行部は6年を最大任期とするという会のルールも私が提案したものです。会の運営を若い執行部に引き継ぐことができ、私は河西さんから引きついだ肩の荷を下ろした思いです。

私の任期後半の3年間は、台風による小下沢林道の崩壊があり、また、コロナ禍のために定例作業などを毎回ごとに実施すべきか否か悩みどおしてました。高尾の森づくりの会は国有林を借りているボランティア団体ですから、事故やコロナのクラスターが発生すれば、その存続も危なくなるとの危機感があったからです。とくに、「20周年を祝う会」を企画して、その後、延期、中止の判断をする際には胃が痛くなる思いでした。それでも、皆さんの協力のおかげで会の「20年の歩み」を出版できたことは楽しい経験でした。

私は、この会に入って広葉樹の植樹の重要性について学ばせていただきました。また、森の緑の美しさ、素晴らしさも高尾の山から知りました。今後も一会員として、森づくりを学んで山の作業を楽しんでゆこうと思います。皆様、ありがとうございました。



新代表の ご挨拶

楽しくバトンを繋ぐ

代表 大塚哲生



ある晴れた日に小下沢のベースにて、河西さんと吉川さんの代表交代のご挨拶を聞いていた事を思い出します。早いものであれから既に6年が経過致しました。16年間代表を勤められた河西さんと6年間勤められた吉川さんに、心より敬意を表します。

【代表とは】

改めまして、吉川さんからバトンを受け取った大塚です。この機会に『代表とは』に関して私なりに以下の様に考えてみました。

- ① 当会の活動が色々な方々のご支援により成り立っている事を知ると共に、会を代表してその方々にお礼を言う人
- ② 何か問題があった際には、会を代表して真っ先に謝りに行く人
- ③ 皆さんと共に当会関連の活動に携わり、皆さんと共に当会の将来を考える人
- ④ 自分が受け取ったバトンを次の人に渡す人

【皆でバトンをつなぐ】

ところで、針広混交する多様性のある森づくりは、50年/100年後の人にその森林のバトンを渡す事と考えます。その為には会員のお一人お一人がお持ちのバトンを託せる仲間や後継者育成・勧誘を、日頃から心掛けて頂けるように心よりお願い致します。

【今年度の方向性】

さて、各幹事及び各班の方々とご協力して、通常の活動に加え、今年度は以下の活動を行います。

- ① 活動継続の為に、広告・宣伝・勧誘活動に力を入れてゆきます。
- ② 小下沢作業小屋迄の林道復旧(の働きかけ)に力を尽くします。
- ③ シカやクマなどの動物対策を行います。手始めに今年度は都有林にシカ対策を施します。
- ④ 植樹祭や紅葉鑑賞会等の外部の方を招くイベント開催に力を尽くします。
- ⑤ 今年度から新作業区域としての板当て5か年計画を始めます。

【最後に】

森の中で汗をかく事はとても楽しく、また、(現在は自粛傾向にありますが)その後仲間と親交を深める反省会は、更に楽しいです。日頃から安全と健康に心掛け、一日でも長くこの活動を続け、楽しく皆でバトンを将来につなげて行きましょう。

新任幹事さんって

こんな人

会の目標実現に向けて
がんばります



相澤篤

新任幹事として活動をスタートしました相澤篤です。特に人見知りではございませんので、この自己紹介文で若干のプロフィールを知っていただき、当会を盛り上げる会話の機会をいただければ幸いです。

私は、サラリーマンの前半では製薬会社の研究所で実験動物を対象の仕事に携わり、後半では臨床試験、つまり、治験（人を対象とした試験）に従事しました。現在は、その経験を生かしてインドアとアウトドアを橋渡りする健康支援の会社を営んでいます。私に関わるアウトドアは、主に山が対象です。山と言えば登山ですが、若い頃は登攀活動中心で、20代でのヒマラヤにおける登攀からはじまり、その後、北半球から南半球の山々を楽しみ、最近、マウンテンバイクでの旅と高所登山を楽しんでいます。

高尾の森づくりの会の活動方針に賛同している立場から、会の目標実現に微力ながら協力させていただきます。

誰もが楽しめる
会を期待して



日比野克彦

新任幹事？の日比野です

これまで監査役を務めてきましたが、今回は幹事を拝命することになりました。

代表、副代表が若返り、コロナが明けこれから大きな発展が期待されます。私のような後期高齢者に何ができるかと言われそうですが、会員の半分が70歳以上という高齢化集団の中に後期高齢者の幹事がいるのも必要と思っています。

70歳を過ぎると体力的には衰えてきますが、森づくりに参加することが体力維持に貢献すると考え後期高齢者の会員各位にも積極的に参加してほしいと思っています。

会の構成員の若返りを進め、代表、副代表、事務局長の活力のもとに高齢者も含めた、何よりも楽しい会、次の定例作業が楽しみになる会にしてほしいと思います。

私は都有林プロジェクトで新しい植栽地づくりをしています。近場で参加しやすい形での植樹を目指しています。皆さん是非ご参加ください、新たなコロナ感染が広がっています、早くピークアウトすることを願うばかりです。

これまでの
活動経験を活かし
楽しい会に



森中大晴

この度、幹事となりました森中大晴（もりなかひろはる）です。

本業は国内メーカーで開発に従事しています。

高尾の森は、以前より小山さん、龍さん、松川さんを通じて存じており、何回かスポット参加させていただいてきましたが、森づくり活動の幅を広げようと2019年3月に入会いたしました。まだまだ若輩者です。

私はこれまで青梅市や日の出町、檜原村地域で活動を行ってきました。近年では森づくり活動へ安全に安心して活動に参加できるよう立ち上げた団体で、主に救命・救護、ハチ、ダニ、ヤマビルなどの危険動物への対処を担当として活動してきました。

作業の方はいわゆる「手ノコ・手オノ」の動力に頼らない作業方法を長く続けております。今後、動力も視野に捉えつつ、みなさんと楽しく活動に関わらせていただこうと考えております。

最後になりますが、幹事としてみなさんの活動へ寄与できるように精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。

新しい技術を
取り入れた
森づくりに挑戦



伊藤篤

今回、新しく幹事になりました、伊藤篤です。入会して、もう10年以上が過ぎました。

ICTが本職なので、少し前は、仕事でドローンを使うことも多かったのですが、新しい技術をうまく使いながら、森作りの新しい方向性が出せればと思っています。例えば、ドローンを伐採のサポートで使うことも可能だと思います。また、遠赤外の映像を使うことで、植物の勢いを知ることができます。高尾の森全体がどのように変化しているのか、などの全体像がわかれば、森作りにも活用できるのではないかと思います。

まだしばらくは、土日に仕事が入ることも多く、毎回出席とはなりません、微力ながら、会の発展に貢献したいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

5月活動日記

ベース小屋横でハクウンボクの花が咲きました



●第2土曜日が雨のため定例作業が1週間延期になりましたが、この日もあいにく出発前から雨が降り出し、当初2012年度植栽地のツル切りを予定していましたが、各班とも上の横道から2012年度植栽地の散策となりました。

●そんな中、一部の勇士たちは雨の中、崩落した作業道の補修作業に。お疲れ様でした。

●ベース小屋裏では、ものづくり班が小雨の中テントを張り、黙々と作業に全集中。



A班 2001年度植栽地前で



雨の日のお散歩？



B班



まあ～これは大変！道補修がんばってくださいね♡



ハイ、がんばってます

下山後のお楽しみは
新鮮なキュウリの丸かじり！



2012年度植栽地はツルだらけ



ベース小屋裏ではものづくり班活動中

もくじ

2022年通常総会報告	02
代表退任のご挨拶	03
新代表のご挨拶	03
新任幹事さんってこんな人	04
5・6・7月活動日記	05
高尾の森 親子森林体験スクール	08
滋慶学園 TCA 森林体験教室	09
みどりとふれあうフェスティバル	09
三宅島緑化再生活動報告	10
高尾の森訪問記他	11
事務局からのお知らせ	12

6月活動日記

- 5月に予定していたツル切り作業を開始。久しぶりの植栽地はツルで覆われ植樹した当時の面影もなく、境界がまったくわからない状態でした。
- 作業終了後は少し遠回りして下山。2019年の台風被害でクルマが通れなくなった林道は荒れ放題！草ボウボウでした。
- 一丁平の草刈りは、蒸し暑かったですが本山リーダーの仕切りで完璧に終わることが出来ました。



A班、今日も元気に出発するぞお〜っ！



B班 出発前



一丁平、キレイになりました

下山後のお楽しみ、ウマイッ！



切れるようになったかなあ〜？



我々の作業エリアは・・・、フムフム



ツルが絡まって取れない・



B班 作業を終えて



前はここクルマ通れましたよね

7月活動日記

- 2012年度の植栽地は日当たりの良い場所なので、ツルも成長していますが、植樹した木も驚くほど成長しています。ツルを除去してだいぶ明るい森に戻りました。
- 5月から対応していた作業道の補修が完了！歩きやすくなりました。



植樹から10年、こんなに大きくなりました



ここはツル天国!?



これをどけて、明るい森の出来あがりい〜ッ!

作業道、補修完了！歩きやすくなりました



下山後のお楽しみ、みずみずしい〜



A班 出発前



B班 出発前

3年ぶりの「高尾の森 親子森林体験スクール」^{第21回}

「腹減ったー！」

大声コンテストの叫び声！ 本山幸次
元気一杯・テンコ盛りでの実施

コロナ禍の影響で中止・延期・縮小を余儀なくされて以来、京王電鉄株式会社・高尾の森づくりの会協賛の体験スクールが「健康チェック/感染対策」を駆使して、3年ぶりに3日間フルバージョンで実施することが出来た。

1日目
4/17(日)

自然観察会、森の話、
尾根ハイキング、地拵え、
椎茸原木コマ植え

参加者親子33人、
先生+サポーター26人

- 「高尾の春はスマレの図鑑だ！」…多種多様な草花観察から始まった
- 森を守ることは、動植物を守り、海をも守っている…映像鑑賞

尾根ハイク出発



尾根広場で



2日目
5/22(日)

木工教室、植樹、
苗木用シェルター設置

参加者親子30人、
先生+サポーター25人

- 丸太切り、巣箱づくり、おもちゃ制作、箸づくり他
- 植樹本番(ヤマザクラ・イタヤカエデ・イロハモミジ・コナラ)
- 鳥獣防護用シェルターの取り付け体験

植栽地で



3日目
6/12(日)

植栽地巡り(大声コンテスト)、
水性生物、ドローン空撮、
修了式

参加者親子23人、
先生+サポーター25人

- 沢に入って生物観察…先生の説明で更に興味が深まったようだ

植栽地ハイク

沢で水生生物観察



殆どの参加者が初めての体験にビックリしたり、緊張したり、面白がったりのカリキュラムが次々と続いた。特に親子共同参画の植樹後、自分の名前入りプレート取付けて樹の成長を願うパチリは貴重な1ページとなった。

高尾の森に囲まれて親子一緒にの昼食タイムも大きな楽しみの一つ。最終日は暫くお預けにして先に(大声コンテスト)を試みた。そこで出てきた「腹減ったー！」の叫びに「そうだ！そうだ！」のみんなの視線が一致して大爆笑で落ち着いた。

サポートいただいた大勢の皆さん、お世話いただき本当にありがとうございました。



今年も元気いっぱい!

滋慶学園 TCA 森林体験教室

榊澤明裕



初めての間伐、なかなかいいね



脱落者なく、全員無事下山できました

5月15日の日曜日、滋慶学園 TCA の学生向けに森林体験教室が開催された。この教室は2015年から始まり、昨年度は新型コロナウイルスの影響で中止となったものの、ほぼ毎年サポート役で参加してきた。

滋慶学園 TCA は江戸川区葛西にある動物海洋専門学校で、参加するのはドルフィントレーナー専攻の新入生である。ドルフィントレーナーを目指すのになぜ高尾?と思うかもしれないが、海と山の自然は繋がっていることを学ぶため、高尾で体験教室が開かれている。元々は故河西初代代表と TCA の中川先生が始めた教育プログ

ラムで、参加する学生も単位を取得するため真剣なまなざしで取り組んでくれる。

今回は75名の新生が参加し、そのうち約9割が女子学生でとても賑やかだ。班に分かれて、まずは小下沢林道を自然観察しながら進む。ベース小屋で記念撮影をした後、ザリクボ沢沿いをたどって、過去の植栽地を観察しながら、景信山近くの間伐予定地まで登っていった。既に、疲れを見せ始める学生もいて少し心配になったが、予定通り間伐地に到着した。

間伐体験はノコギリを使うのに慣れていない学生ばかりで、なかなか進まない。そんな中でも、何とかロープを引いて力を合わせてヒノキを伐倒し、森の中に大きな歓声が響き渡った。その後、森の中で昼食を済ませ、全員が景信山に登頂した。疲れた様子もあったが、遠く都会のビル群まで見通せて、達成感、充実感が得られたようだった。そして、大きな怪我もなく、皆下山することができた。こちらも、サポート役としてひと安心できる瞬間だった。

この高尾の体験から学生たちが何かしら学んでくれたらありがたい。そして、今後も出来る限りサポートを続けていきたいと思っている。

「みどりとふれあうフェスティバル」に参加して

佐々木正雄

今年の「みどりの感謝祭」は、東京での会場がこれまでの日比谷公園から木場公園へ移っての開催となりました。当初の予定では5月14日(土)と15日(日)の2日間開催でしたが、悪天候が予測されたため前日になって急遽、「初日は開催中止」の通達が運営本部から届き、15日だけの短縮開催となりました。

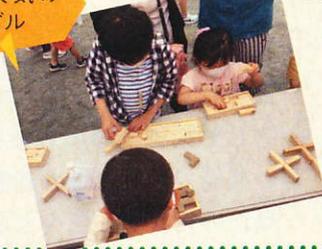
高尾森づくりの会としての参加は、これまで主に「ものづくり班」のメンバーが中心となって参加してきました。今年の参加は木工作品の搬入・搬出にたいへん苦労しました。コゲ沢林道が復旧工事中で、ベース小屋から木工作品の搬出、高尾599ミュージアムでの展示作品はベースには戻さず、メンバーの車内に保管してもらいそのまま木場公園へ。そして木場公園での展示・販売残留作品は次の「八王子環境フェスティバル」へと一連の



親子連れで大賑わい



いつも人気の木製パズル



活動継続です。

さて、木場公園会場では子供づれが多く、木製パズルの席は大繁盛、作品の売れ筋も積み木、木製パズル、それに20個以上もあったバードコールは完売でした。反省としてはテントサイトが狭く、展示販売用のテーブルが4脚と制限された結果、恒例の横川コレクションが披露できなかったこと。そして、14日(土)が森づくり定例作業、15日が滋慶学園プロジェクトと重複して参加人材が制限されてしまった点。さらに、コストパフォーマンスなど問題点がいくつもあります。展示・販売、広報活動を通じて、参加したメンバー全員で文字通りの参加型地域/社会活動に貢献、仏教で教える“自利他*”を達成できたのでは。

*自らが楽しみ利益を得るだけでなく、他者(会場に来た一般客)にも利益が及ぶ行動。

第23回 三宅島 緑化再生活動 報告

川久保芳男



三池港で村の方の盛大なお見送り

緑化が進んだ三宅島

作業出発前



コシキの穴の看板



コシキの穴と外輪整備作業前



コシキの穴の雑木草刈り整備



台風やコロナの影響で、3年ぶりに今も活火山の三宅島へ緑化再生活動に行ってきた。

6月23日22:30、総トン数6099tの大型客船「さるびあ丸」で竹芝橋から南約180kmを目指して船出。参加者は、小木曾リーダー、島内の移動にレンタカー運転して頂いた小山さん、早川さん、他の総勢11名（女性5名、男性6名）、その内初参加者は5名、平均年齢が若くなった。

乗船後、恒例の2等客室で雑談と飲み会。消灯後、有志はデッキで二次会。三宅島には翌24日早朝5時到着。9時に村役所の方、村人など一緒に作業してくれる人と合流。

その後、七島展望台下（雄山噴火口立ち入り禁止区域の手前）は、海風と噴火口からの二酸化硫黄ガスのため以前植樹した所で捕植作業を開始。出発時、晴天であったが、標高が上がると「霧」が深く寒さを感じた。植樹は、タブノキ、ヤブツバキ、スダジイの苗を300本植えた。

植樹終了後、25日の作業現場である「甌（こしき）の穴」の下見へ。三宅島観光協会のパンフレットには、「『コシキの穴』は1643年の噴火口で、日本山岳会 高尾の森づくりの会により、遊歩道や展望ベンチが整備されている」と記載されていた。

25日の「甌の穴」での下刈り作業は、刈払機班と刈った草の移動作業班に編成。高尾で慣れた刈払機班も熱中症に成りかけるほどで水を飲みながらの作業だった。刈った草を巻き落とし作業が出来ず（平のため）、「ネコ」や「大きな袋」で運搬。さらには、現地の竹とシートで「担架」を作り、2人運搬も行った。午後からは、「甌の穴」周辺路の整備作業を行い、この日の作業は終了！

この3年間のコロナの影響で島への観光客減少し、また民宿の跡取り不足などから、以前我々が利用した民宿3軒の内2件が廃業。今回我々の宿泊した「共栄荘」は、姪御さんが継いでいた。また、島のガソリンは200円/ℓをオーバーしていた。

宿では、懐かしいウイスキーや烏賊の刺身など持参した島民（12名）と、夜おそくまで交流会が行われ、楽しいひと時を過ごすことができた。

最終日の26日は島の観光として、アカココ館、巨樹巡り、神社巡りそして朝採りの明日葉をいただいた。今年の秋にまた島に来ることを誓い、棧橋でテープでの送迎でお別れをした。

島民の皆さん、色々とお世話になりありがとうございました。



案内を担当した、左から 小山さん・大森さん・山崎さん
(イラスト：梅田由花さん)

出発前 ベースにて



◆ 高尾の森 訪問記

高尾ビジターセンター
副センター長 梅田由花

この日は、風の通らない山道を歩いていけば汗が噴き出してくるような天気の良い日でした。今回はまずツル切りを体験させて頂いたのですが、暑さもさることながら、柔らかい土の積もった急斜面はととてもよく滑り、安定する足場を見つけるのにも一苦労です。そんな状況で、皆さんは私



ツル切り体験 スッキリしました

たちの倍以上のスピードでどんどんとツルを刈られていきます。これほど大変な作業をされているにも関わらず、「雨が降ってもみんな来るから」と、笑顔でお話される山崎さんが印象的です。

そして、植栽地とセンサーカメラの設置場所を案内いただき、カメラの設定方法に至るまで詳しくレクチャーいただきました。カメラの設置場所までは獣道のような細く険しい道が多く、これまた辿り着くまで一苦労です。いつも共有いただいているセンサーカメラデータの蓄積や解析、発信などの作業の継続が決して簡単なことではないと改めて痛感します。

私は、高尾ビジターセンターに勤めて今年で8年目を迎えますが、日々高尾山の価値の高さを実感しています。近年では、シカが急増するという問題に差し当たり、まだ山の中心部への被害は少ないとはいえ、多数の希少種が局所的に生育するという特徴を持った高尾山としてはあまり楽観視できない状況です。こうした中で、皆さんの蓄積されてきたデータが、この問題と向き合う上で非常に参考になり、対策へ向け何よりの後押しとなったことは紛れもない事実です。

皆さんに教えていただいたことを、しっかりとビジターセンターの活動に活かし、私たちも高尾地域に還元できる情報を収集・発信していかなければと強く思いました。会員の皆さま方、お忙しい中ご対応いただき本当にありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします！

新会員紹介

ささえあグループ
よろしくお祈りします



多様で豊かな森林の復元を目指してー

はじめまして、このたび新たに法人会員となりました「ささえあグループ」と申します。ささえあグループは、畜産動物並びにコンパニオンアニマル向けの動物用医薬品の開発・製造・販売を一貫して行うグループであり、日本の生産者、獣医療関係並びにペットオーナー皆様の予防から治療までのご要望に応えることが出来る唯一無二の企業体として、2022年より本格始動をしております。

さて、当会へ入会したのは、数名の社員が6年ぶりに復活した植樹祭に参加したことがきっかけとなり、それが社内・グループ内でも大きく取り上げられるようになって入会するに至っています。SDGsとは昨今よく言われることですが、私たちが目指すのは、動物と人が幸せに暮らすことのできる持続可能な社会です。多様で豊かな森林の復元を目指す皆さまと活動を共にすることで、その実現に向けて少しずつ歩みを進めていければと思います。



幹事会報告

(詳細はホームページ会員専用ページを参照ください)

- ◆ 6月
 - 議 案 1. 定時総会の開催について
 - 議 案 2. 板当地区「ふれあいの森」の応募結果・対応について
 - 協議事項 1. 6月定例作業内容について
 - その他 三宅島緑化再生プロジェクト計画、他
- ◆ 6月 (臨時)
 - 議 案 1. 新役員選任について
 - 議 案 2. 銀行取引担当者の選任について
- ◆ 7月
 - 議 案 1. 副代表選任について
 - 議 案 2. 第二ゲート西の林道補修提案
 - 協議事項 1. 7月定例作業内容について
 - 協議事項 2. 会の役割分担見直しについて
 - 報告事項 1. 板当地区「ふれあいの森」整備事業について
 - 報告事項 2. 国土緑化推進機構関連について(2件)
 - 報告事項 3. 巨木の森 クマ出没情報について

活動記録

5/14	定例作業（雨天のため5/21に延期）
5/15	滋慶学園TCA 森林体験教室（学生75名、会員20名）
5/15	みどりの感謝祭（木場公園、会員10名）
5/21	定例作業（会員45名、法人5名）
5/22	京王親子森林スクール 2日目 （親子23名、京王3名、会員21名）
5/29	都有林プロジェクト（9名）
6/5	八王子市環境フェスティバル（JR八王子駅南口）
6/11	定例作業（会員53名、法人13名、体験5名）
6/12	京王親子森林スクール 3日目 （親子30名、京王4名、会員22名）
6/17	一丁平作業（会員7名、京王2名）
6/18	2022年通常総会 （出席31名、決議権行使64名、委任状27名）
6/26	都有林プロジェクト（11名）
6/24~26	三宅緑化プロジェクト（延べ24名）
7/9	定例作業（会員53名、法人5名）
7/16	刈払機講習会（荒天のため9月に延期）

クマ 出没注意

私たちの活動エリアである高尾の森に、以前よりクマが生息していることは確認されていますが、今年は設置している動物カメラで6月までに4件クマの映像を確認しています。特に単独で歩く場合はご注意ください。

クマに出会わないために

- クマ鈴をつけて鳴らす
- ラジオなどで音を出す
- 複数で入山し大きな声で会話をする

クマに出会ってしまったら

- クマが遠くにいる場合
落ち着いてその場を離れる。走ったり大声を出してクマを驚かせないようにする。
- クマが近くにいる場合
クマに背中を見せず、落ち着いてゆっくり後退りしてその場を離れる。
- クマに襲われた場合
うつぶせになって丸くなり、組んだ両腕で首の後ろ側を、ヒジで顔をガードする。クマは人を怖がっており、抵抗せずに数分耐えれば逃げていくと言われている。



活動実績と予定

8/13	定例作業（台風のため中止）
8/27・28	チェーンソー特別教育 1回目
8/28	都有林プロジェクト
9/10	定例作業
9/17	チェーンソー特別教育 2回目
9/18	刈払機講習会
9/24	機械作業実践講習 1
9/25	都有林プロジェクト
10/8	定例作業
10/22	機械作業実践講習 2
10/23	都有林プロジェクト

会員動向

入会：ようこそ

ささえあホールディングスさん（法人）、佐直敦子さん、十河三郎さん、野村美奈さん

キッチン班 担当者募集

高尾の森のキッチンを担当いただける方を募集しています。担当いただける方、またご質問など、仁藤事務局長までご連絡をお願い致します。

→ nitohmasaosirotori33@gmail.com

編集後記



● 今年の梅雨入り梅雨明けは記録的な早さで、6月末から暑い日々が続きましたが、8月に入って、本格的な暑さがやってきました。

我が家で唯一エアコンの無い私の部屋は、夜になっても毎日が猛暑部屋！今は空き部屋となった子供の部屋をエアコンで冷やして、私の部屋に冷風を送り込んでの編集作業でした。せっかくの夏山の一番いいシーズンに引きこもってはいもったいない。早く涼しい～夏山に行かねば。（大島徹）

